



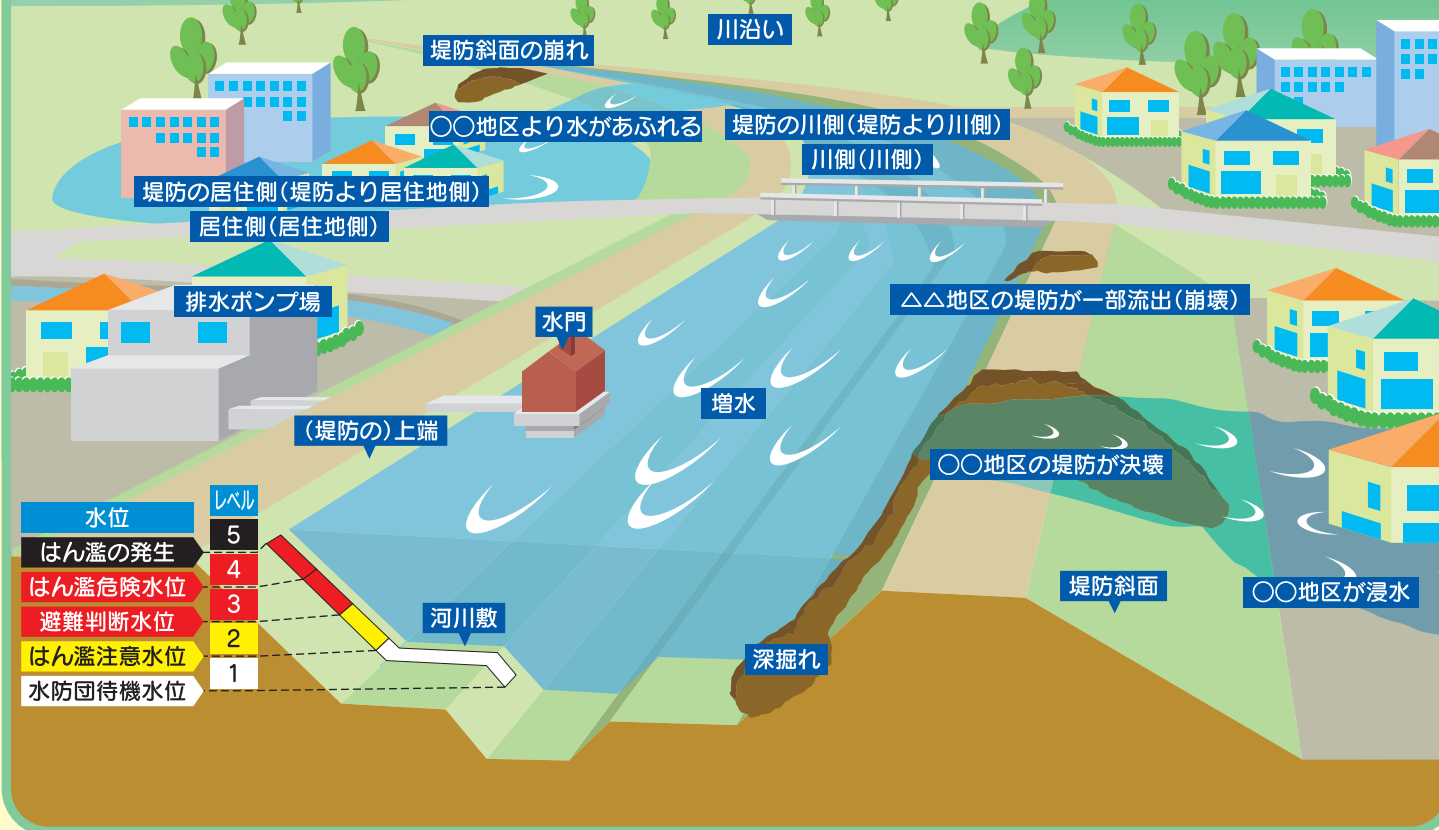
覚えて  
おこう!

## 洪水時に使われることば

情報を正しく理解することは、防災への第一歩です。  
災害時などによく使われる用語についてご紹介します。

河川の洪水予報で用いる用語

- 〇〇川はん濫発生情報
- 〇〇川はん濫危険情報
- 〇〇川はん濫警戒情報
- 〇〇川はん濫注意情報



国土交通省  
九州地方整備局  
河川部 河川管理課

〒812-0013 福岡市博多区博多駅東2丁目10 番7号 福岡第2合同庁舎  
ホームページアドレス <http://www.qsr.mlit.go.jp>  
TEL 092-471-6331 (代)

知ってて安心・持っていて安心・防災ガイド

# 知って安心



災害から身を守る  
知識ってナニ?



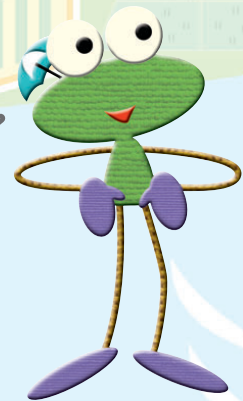
国土交通省  
九州地方整備局

# 水害から身を守るために

近年の洪水の多くは、集中豪雨や記録的な大雨により、これまでにない深刻な被害が多数発生し、その被害も年々大規模なものとなっています。

私たちの住む街もいつ大規模な水害に見舞われるかわかりません。このような事態から自らの命・家族・財産を守るため、刻々と発表される防災情報を正しく理解し、迅速な避難行動に結びつけ、危険から身を守るための基礎知識として活用して下さい。

博士、水害から身を守るためにはどうしたらいいの？



それじゃ、水害から身を守るために大切なことを教えよう！



## 水位に応じた危険度レベル？

## 身を守るための情報とは？

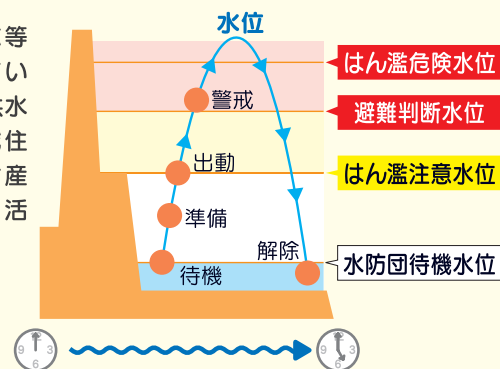
## 災害時の心構え

## 洪水時に使われることば

### 知っていますか？

#### 水防団～洪水から地域を守る～

地域の有志等で構成されている水防団は、洪水などから地域住民の生命や財産を守るために活躍しています。



**待機**

異常はないかな？

**準備**

いつでも出動できるぞ！

**出動**

よしよし... よしよし...

**警戒**

もう大丈夫かな？

**解除**

もう安心だ！

地域の安全のためにがんばっているんだね！



知っておこう！

# 水位に応じた危険度レベル

川には、水位の高さに応じた危険度のレベルがあります。

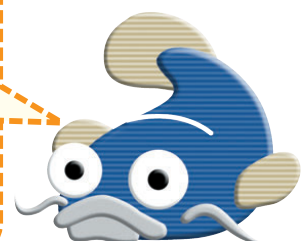
レベル	水位	自治体、住民に求める行動
5	<b>はん濫の発生</b>	<b>レベル5</b> 自治体及び住民は、新たにはん濫が及ぶ区域で避難の判断が必要です。
4(危険)	<b>はん濫危険水位</b> 堤防の決壊など重大な災害発生のおそれがある水位です。	<b>レベル4</b> 避難を完了
3(警戒)	<b>避難判断水位</b> 避難行動を行う目安となる水位です。	<b>レベル3</b> 自治体は、避難勧告などの発令を検討する段階です。 住民は、避難を判断する段階です。
2(注意)	<b>はん濫注意水位</b> 避難行動の準備を行う目安となる水位です。	<b>レベル2</b> 自治体は、避難準備情報の発令を検討する段階です。 住民は、はん濫に関する情報に注意が必要です。 水防団は、出動する段階です。
1	<b>水防団待機水位</b> 水防団が水防活動を行うために待機する水位です。	<b>レベル1</b> 水防団は、待機を行う段階です。

### 色による分類



各水位は色によって区別され、はん濫の危険性の周知が徹底されるよう工夫されています。

- レベル1・・・無着色
- レベル2・・・黄色
- レベル3及び4・・・赤色
- レベル5・・・黒色



# レベル 2 ○○川はん濫注意情報

## はん濫注意水位に達すると、 ○○川はん濫注意情報が 発表されます。

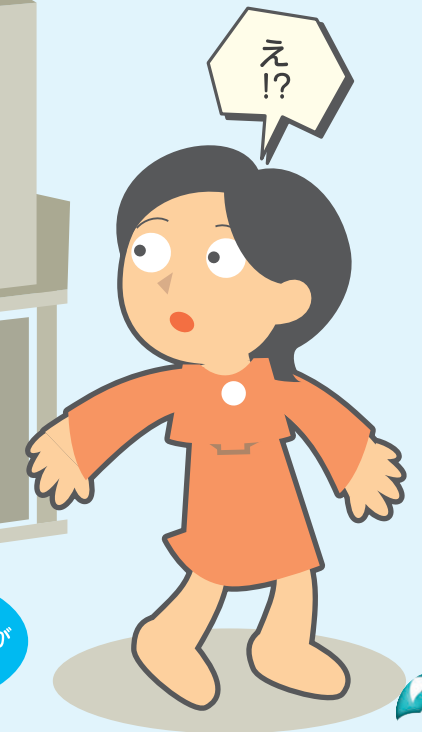


こんな現象が水害信号です。日頃から、生活している地域の危険箇所を調べておきましょう。



## ○○川はん濫注意情報発表 その時

国土交通省と気象庁は共同で「○○川はん濫注意情報」を発表いたしました。



## その時、どうすればいいの？



テレビやラジオ、パソコン、携帯電話で流れる情報をこまめに確認してください。深夜や停電時に備えて、携帯用のラジオを準備しておくとう便利です。いつでも避難できるよう、身支度や防災用品の準備をして、近くの河川情報も常に注意しておくことが重要です。

また、子どもやお年寄りなど、避難に時間を要する方は、早めの避難を心掛けましょう。

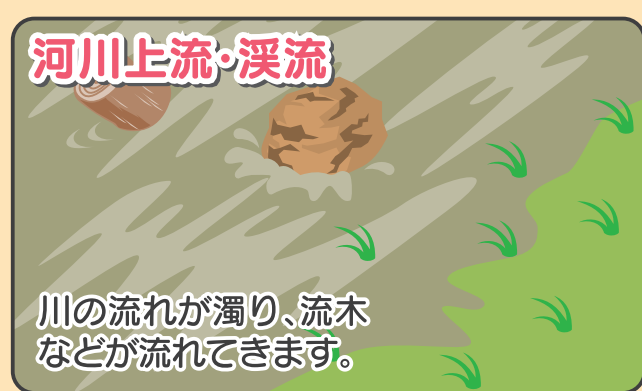
日頃から準備しておくことが大事なんだね



# レベル 3 ○○川はん濫警戒情報

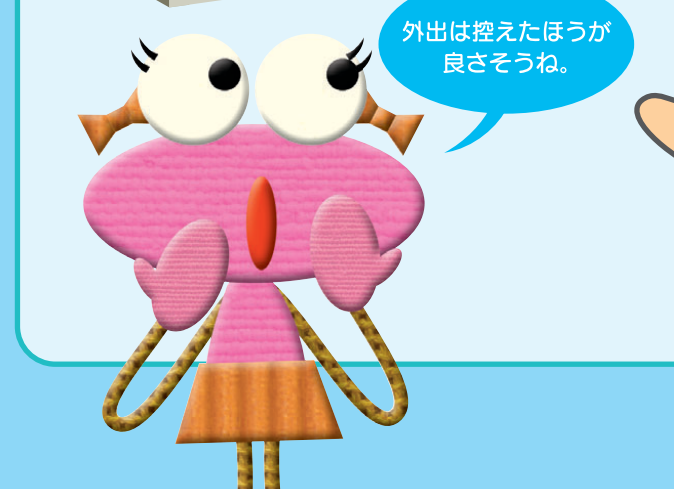
はん濫危険水位に達する  
恐れがある時または  
避難判断水位に達した時に  
○○川はん濫警戒情報が  
発表されます。

大雨が続くと、身のまわりでもいろいろな被害が発生します。状況を把握し、安全な避難を考えましょう。



## ○○川はん濫警戒情報発表その時

国土交通省と気象庁は共同で「○○川はん濫警戒情報」を発表いたしました。



早めに避難しよう!

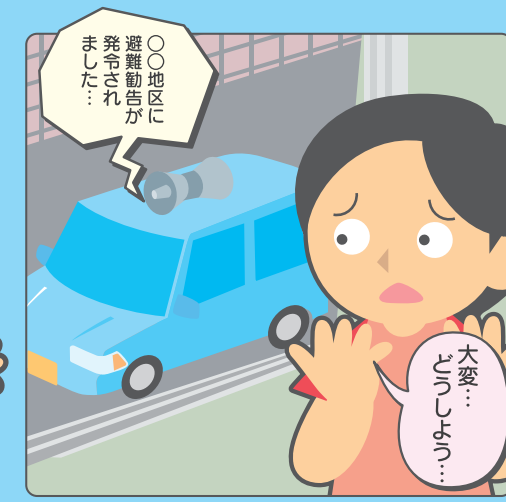
はん濫危険水位に達しそうだ!!

はん濫危険水位  
避難判断水位  
はん濫注意水位  
普段の水位

**○○川はん濫警戒情報発表**

堤防

## その時、どうすればいいの?



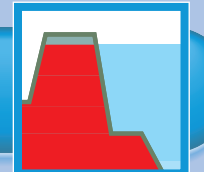
お住まいの市町村から避難に関する情報が、広報車や有線放送、防災無線、サイレンなどで伝えられます。  
もし、避難勧告などが出ていなくても災害の危険を感じたら、自主的に避難することが大切です。

### 市町村長が発令する避難情報

- 避難準備情報... 要援護者等、特に避難に時間を要する方に避難を促す情報です。
- 避難勧告... 一般の方に避難を促すために発令される勧告です。
- 避難指示... 人的被害の発生する危険性が非常に高いと判断された時に発令されます。



レベル 4 ○○川はん濫危険情報



はん濫危険水位に達すると  
○○川はん濫危険情報が発表されます。

はん濫危険水位に到達すると、堤防の決壊などによる大規模な被害が発生する恐れがあります。近くの避難所などへ避難しましょう。



レベル 5 ○○川はん濫発生情報



河川のはん濫が発生した時は  
○○川はん濫発生情報が発表されます。

堤防の決壊によるはん濫が発生した時は、大規模な浸水被害の恐れがあります。また、はん濫の状況により避難場所においても浸水の可能性があります。様々な情報に細心の注意を払いましょう。



**水防情報の提供**

「川の防災情報サイト」では全国のリアルタイムの①雨量の状況 ②河川の水位 ③ダム放流状況など、様々な情報を提供しています。

**閲覧できる情報**

- 実況レーダ
- レーダ累加
- レーダ履歴
- 雨量
- 水位
- ダム諸量
- 河川予警報
- など

**国土交通省〈川の防災情報サイト〉**

インターネット情報サイト  
<http://www.river.go.jp>

携帯電話情報サイト  
<http://i.river.go.jp>

※機種によっては読み込めない場合がございます。

**安否情報が伝えにくい場合は...**

大規模な災害発生時、被災地への電話がかかりにくくなります。その場合は「災害用伝言ダイヤル」をご利用下さい。

**伝言を録音するには...**

まずは **171** を押し、次に **1** を押します。あとはご自分の **電話番号** を入力して録音してください。  
※電話番号は必ず市外局番から入力してください。

**伝言を聞くには...**

まずは **171** を押し、次に **2** を押します。あとは相手先の **電話番号** を入力して伝言をお聞きください。  
※電話番号は必ず市外局番から入力してください。

**NTT災害用伝言ダイヤル 171**

事前の契約等は一切不要です。

もしも、こちらは無事です。

なにもなくてよかったです。

※QRコードは株式会社アンソーウェブの登録商標です。



知っておこう!

# 災害時の心構え

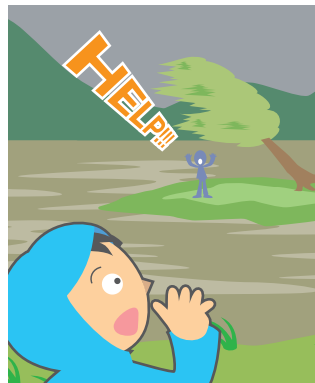
## 1 知っておきたい思わぬ危険

### 《河川・溪流など》

河川などの自然環境では、天候の変化がすぐにも事故につながる可能性があります。災害が予測される場所から早めに避難しましょう。



満などは水の流れが早くなり危険です。



河川上流では、水かさの変化が激しく、中洲に取り残される場合があります。



急な崖の近くでは、水分を含んだ土砂が崩れる可能性があります。



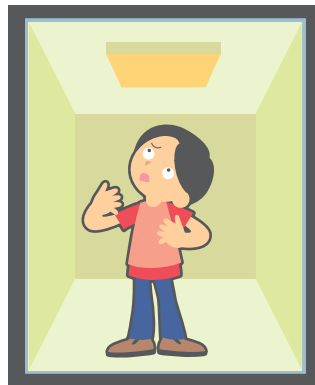
水かさの増した川の橋はとても危険です。

### 《オフィス街など》

都心部では地下施設などが多く、思わぬ被害が生じる危険があります。事前に予備知識を持ち、速やかに避難できるよう心掛けておきましょう。



地上が冠水すると、地下室へ一気に水が流れ込んできます。



浸水すると電灯が消え、エレベーターは使えません。



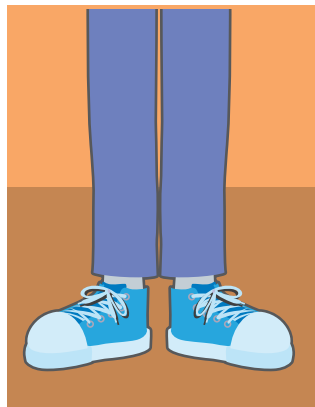
水圧でドアは開かなくなります。



換気口や採光窓など、思わぬところから水が流れ込んできます。

## 2 洪水からの避難のポイント

洪水災害の威力は計り知れません。避難時の注意点を事前に知ることによって被害を最小限に抑えることが可能です。



運動靴が最適です。長靴は、浸水が深いと水が入り、歩きにくくなります。



歩ける水の深さは膝の高さまでです。流れが早いと20cmの深さでも危険です。



水の中は何があるのかわかりません。杖などを使って確認しながら進みましょう。



お年寄りや子どもは、はぐれないよう、お互いをロープなどでつないで避難しましょう。

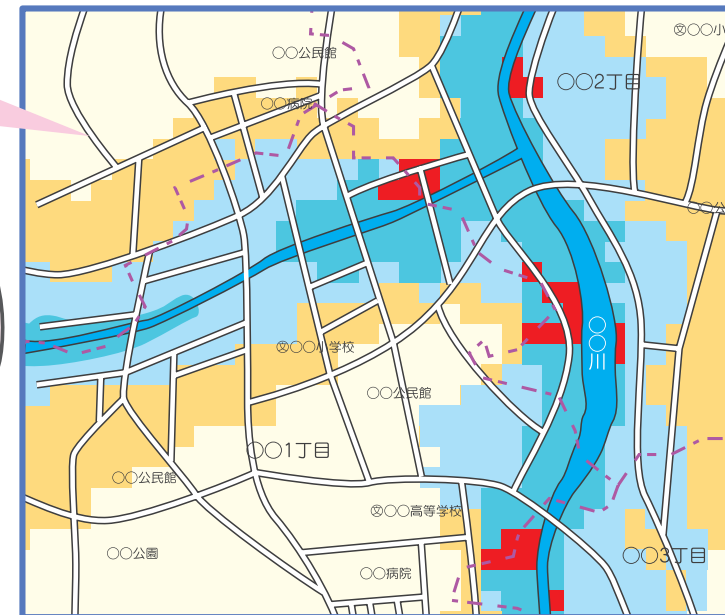
## 3 災害から身を守るために、日頃からの準備を!

定期的に話し合ってみましょう。

日頃から水害ハザードマップで避難場所の確認など、水害時の準備をしておきましょう。

### 水害ハザードマップ

万が一の水害時に、地域の住民の方々が安全に避難できる事を主な目的として、想定浸水深・避難所の位置及び一覧、緊急連絡先、避難時の心得等が記載されています。



防災マップや水害ハザードマップは、市役所または役場へお問合せ下さい。

### 防災グッズの準備と定期点検

家族構成を考えながら必要な物がそろっているかチェックしましょう。また、使用期限のあるものは定期的に取り替えましょう。

おもな

#### 非常持出し品

